

平成30年度教育課程研修会・講演会 報告書

教育課程部会

- 日時 平成30年11月27日（火） 10:00～午前の部 13:00～午後の部
- 会場 私学会館 大会議室および各会議室（分科会）
- テーマ 「今後の高校教育の課題と展望」
- 目的

- ① 教育課程に限定せず、教務の仕事全般を見渡して、研究すべき諸問題を深める。
- ② 特に今後の高校教育改革並びに高大接続改革の動向を注視し、その行方を学ぶ。
- ③ 各学校の情報交換の場とする。

- 内容

《午前の部》

第1部 全体会（午前）

- ① 開会式 部会長挨拶
島田樟誠高等学校 理事長・校長 吉永 清貴
- ② 講演会
『課題探究型学習とカリキュラム・マネジメント
～堀川高校での取り組みから』
講師：大谷大学 文学部 教授
荒瀬 克己 先生

第2部 全体会（午後）

- ③ 県外視察研修会報告（本年度は京都府）
 - ◇ 京都市立堀川高等学校 専門委員 加藤 学（浜松日体中学・高等学校）
 - ◇ 京都外大西高等学校 専門委員 村田 卓久（静岡北中学・高等学校）
 - ◇ 伝達講習 専門委員 山本 真宏（島田樟誠高等学校）
- ④ 分科会（グループワーク）

事前に各高校が抱えているであろう「カリキュラム・マネジメント」や「新しい学びのスタイル」についての様子を同アンケートを実施し、資料として参加校の先生に配布しました。それに基づいて各分科会では情報交換ならびに意見交換を行った。

1. 全体会の感想

- 講演会の講師の先生が県外視察の学校の校長先生だったこともあり、非常に興味深い研修でした。1999年から始まる「堀川の奇跡」の様子と、その基本にある考え、また2018年の現在の学校の様子をお聞きすることができ、たいへん勉強になりました。
- たいへん有意義な内容で参考になりました。
- 県外視察報告の堀川高校の内容は、興味深かったです。

2. グループワークの感想

- 情報交換・共有ができるので助かります。
- グループワークを2セット企画して下さったのがよかったです。とにかくいろいろな学校のやり方や考え方を知ることができ、とても参考になります。交流も広がっていきます。大変有

意義な研修でした。（多数）

- 他の学校との交流ができる、分科会の時間がとても有意義でした。他校での取り組み内容を今後本校にも取り入れていきたいと思います。
- 他校の様子が聞け、どの学校においても似たような課題を持っていることが分かりました。
- 他校の実践と問題点を知ることができ、本校の課題を考えることが出来ました。

3. 講演会について

- 講演はとても参考になりました。
- 講演会の講師の先生が県外視察の学校の校長先生だったこともあり、非常に興味深い研修でした。1999年から始まる「堀川の奇跡」の様子と、その基本にある考え、また2018年の現在の学校の様子をお聞きすることができ、たいへん勉強になりました。
- 講演会では新しい学習指導要領の教育課程を作成するにあたっての留意事項が明確になり、とても参考になりました。
- 講演会については、いつも大変内容の深いお話が聞けて、エネルギーをいただき感謝しています。
- 今回の講演会のような有名な教育関係者のお話を生で聞くことができると、非常に刺激になり、今後のヒントになります。今後ともよろしく願います。

4. 全体を通じた感想

- 私学全体の流れだけでなく、自分の置かれている状況も把握することができる良き場となりました。
- 専門委員の中でテーマを決めて、講演会や県外視察等行っているとは思いますが、教育課程研修会の前にテーマを共有して頂けると、より一層研修会が充実すると思いました。
- 多くの学校の実情を知ることができて、大変有意義な研修であった。自校の悩みを真剣に検討していただける学校の先生方に大変感謝している。
- 年ごとにICT教育の環境を整えている学校が増えており、GWでは個人的に質問をしていますが、情報の共有をできる範囲で構いませんのでしていただくと助かります。
- 講演会、グループワークともにテーマを明確にした研修であり、また県外視察報告は他校の実践例を知る機会となっており、今後の教育活動に大変有益な研修でした。ありがとうございました。
- 分科会での他校での実践例や学習指導要領改訂、県外での取り組みを知ることができ、大変良い刺激を受けることができた。
- 大変有意義な研修を受けることができました。自分の学校の課題がたくさん発見できたと思います。新課程に向けた研修をもっと受けていきたいと思います。

【記録：専門委員 まとめ：副部会長 島田樟誠高等学校 教諭 山本 真宏】